

## 北陸AJEC 2024年度事業計画の実施状況と評価・方向性

## 1. 調査研究、2. 情報発信

事業計画	実施状況、評価・方向性
<p>(1) 調査研究</p> <p>(a) 「経済安全保障を巡る動きとサプライチェーンの再編」</p> <p>(b) 金沢大学人間社会研究域の調査研究支援「自由貿易協定(FTA)が日系企業のサプライチェーン構築に与える影響」 ※科学研究費助成事業</p>	<p>①2023年度調査事業「経済安全保障を巡る動きとサプライチェーンの再編」に関わる対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査事業報告書発行(5/8)</li> <li>・2024年度北陸AJEC定期総会(6/10)にて特別講演会を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師：細川昌彦氏(明星大学教授、元中部経済産業局長)</li> <li>・演題：「米中対立と経済安保、企業はどう向き合うのか」</li> <li>・本講演内容を、Warm TOPIC Vol. 179(2024年9/10月号)にて掲載</li> </ul> </li> <li>・調査事業報告セミナー開催(10/2) <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演(2名) <b>写真①</b> 「米国大統領選挙と経済安全保障政策を巡る動き」 国際貿易投資研究所 研究主幹 高橋 俊樹氏 「米中対立、台湾企業の対中戦略の変化」 九州産業大学 名誉教授 朝元 照雄氏</li> <li>・パネルディスカッション モデレーター： 亜細亜大学特別研究員(AJEC企画部会委員)石川 幸一氏</li> <li>・パネリスト： 高橋 俊樹氏、朝元 照雄氏 高松機械工業(株) 安全保障貿易管理室室長 小澤 裕二氏 北陸AJEC企画部会委員長 丸屋 豊二郎氏</li> </ul> </li> </ul> <p>→米国大統領選挙結果や中国の経済情勢変化により今後大きく影響を受けると想定されるため、引き続き動向を見極めWarm TOPICでフォローアップ予定。</p> <p>①9/12～15、タイ調査研究支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金沢大学の加藤教授を中心とした調査団による、タイ現地会員企業調査に対する協力依頼あり。STC NICCA CO., LTD、FUKUVI (THAILAND) CO., LTD、TAKAMATSU MACHINERY (THAILAND) CO., LTDの工場視察、現地面談を実施。</li> </ul>
<p>(2) 情報発信</p> <p>(a) 外国人留学生と留学生OB、企業との情報共有の場の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸未来共創フォーラムと連携し、「外国人留学生採用セミナー&amp;外国人留学生との交流会」の開催</li> </ul>	<p>①「北陸企業による外国人留学生採用実例報告会及び外国人留学生との交流会」(8/8) <b>写真②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1部：留学生採用企業(2社)の人事部門、留学生OBからの実例報告(リアル&amp;オンライン参加者計68名) <ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸電気工事(株) (人事部門)人事労務課 桐井 怜奈氏 (留学生OB)事業戦略調査室 アンディ プラコソ氏</li> <li>・津田駒工業(株) (人事部門)総務・人事課 副参事 森田 篤史氏 (留学生OB)販売第2課 董 恒彰氏</li> </ul> </li> </ul>

事業計画	実施状況、評価・方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2部：北陸企業と外国人留学生との交流会(参加者51名)</li> <li>・ アンケートでは、北陸企業の留学生採用の方針や実態がわかり大変参考になった、普段話せない北陸企業関係者や留学生と直接話ができ貴重な機会になった、といった声を多数いただいた。</li> <li>→ 会員企業が要望する形で現役留学生との交流を深め、採用支援に結び付くような取組みを今後も実施予定。</li> </ul>
(b) 「北陸未来共創フォーラム」(人材流入・地域定着分科会 WG2) への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 令和6年度第1回ミーティング(6/26)</li> <li>・ 令和5年度活動報告、令和6年度活動計画、および経済産業省「高度外国人材活躍地域コンソーシアム」北陸コンソーシアムの業務支援メニュー利用に関する概要説明・協議等実施。</li> <li>② 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」コンソーシアムイベント(12/4)</li> <li>→ 留学生の地域定着にかかわる事業や取組み、留学生インターンシップや採用マッチングの事例を紹介。</li> </ul>
(c) 留学生受入れに関する情報収集・情報発信 ・ 企業からの情報収集(留学生OBの状況、企業側のキャリアビジョン、採用・育成方針等)、Warm TOPIC等を通じての情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Warm TOPICにおける留学生OB・採用企業紹介</li> <li>・ 企業から情報収集(留学生OBの状況、企業側のキャリアビジョン、採用・育成方針等)し、Warm TOPIC等を通じて情報発信。</li> <li>・ Vol.177(5/6月号)(株)日本AMC 廖 粵華(リャオ ユエホワ)氏 中国 福井大学</li> <li>・ Vol.178(7/8月号)中村留精密工業(株) チパザアーノルド氏 ジンバブエ 東京外国語大学・新潟大学</li> <li>・ Vol.179(9/10月号)(株)アプト・シンコー ニテンヨ氏 中国 金沢大学大学院</li> <li>・ Vol.180(11/12月号)会宝産業(株)モレノ アレハンドロ氏 スペイン 北陸大学</li> <li>・ Vol.181(2025年1/2月号)(株)小松電業所 王 啓氏 中国 金沢大学</li> <li>・ Vol.182(3/4月号)(株)PFU 予定</li> </ul>
(d) 北陸AJEC HPの改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 北陸AJECのイメージ刷新、及び北陸AJECの活動を適時適切にわかりやすく情報発信するため、HPを改修中。</li> <li>2024年度中に公開予定。</li> </ul>
(e) Warm TOPICに関するアンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 会員企業対象にWarm TOPICの認知度等アンケート調査を実施(回答率40.2%)。</li> <li>(主な調査結果)</li> <li>・ 認知度：90%以上が認知</li> <li>・ 発行頻度(2か月に1回)：80%が適切と感じている</li> <li>・ 閲読度：64%が毎号目を通して</li> <li>・ ボリューム(36P程度)：71%が適切と感じている</li> <li>・ 有用性：67%が許容層</li> <li>・ 発行媒体：Web化許容層60%、冊子存続希望31%</li> </ul>
(f) 特定技能外国人労働者に関する情報収集・情報発信 ・ 全国大での動向、受入実績に関する情報収集・情	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 12/17(本日開催)講演会</li> <li>「外国人材関連制度の改正を踏まえた高度外国人材の採用・育成・定着について」</li> <li>ユニバード株式会社 エンピ・カンデル氏</li> </ul>

事業計画	実施状況、評価・方向性
報発信 ・北陸地域での動向把握	(JETRO 高度外国人材スペシャリスト) →会員企業の特定技能外国人に関する理解促進を図り、採用に結び付くためにも今後も継続実施予定。

### 3. 国際交流

事業計画	実施状況、評価・方向性
<p>(a) ASEAN諸国</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム政府高官との北陸の企業等との経済交流会議の開催</li> <li>・インドネシア行政官の北陸企業視察支援、及び経済懇談会の開催</li> </ul> <p>※政策研究大学院大学（GRIPS）が JICA 事業の一環として実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外現地情勢報告セミナーの開催</li> </ul> <p>&lt;関係機関・団体との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ：「お互いフォーラム協会」主催の国際会議、シンポジウム、セミナー、並びに懇談会開催支援</li> </ul>	<p>①ベトナム行政官との経済交流会、及び北陸企業の産業視察会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10/24、中央省庁・地方省の局長/副局長級の短期研修生 19 名、地方省の副局長級の中期研修生 5 名、GRIPS 高田副学長、工藤教授他 2 名、JICA 他、総勢 34 名にて富山市美濃部副市長を表敬後、コンパクトシティ戦略とスマートシティ政策の研修を実施した。<b>写真③</b></li> <li>・10/25、中村留精密工業を訪問、深山取締役管理本部長挨拶後、概要説明に引き続き、AGV（自動搬送車）を導入した最新鋭の新工場をはじめ、工場設備、及び設計研究部門を視察した。<b>写真④</b></li> </ul> <p>→同政策指導者および政策プロフェッショナル候補者から多くの熱心な質疑が寄せられ、非常に充実した研修となった。今後も海外行政官の受け入れを継続予定。</p> <p>①第1回 ベトナム特集 <b>写真⑤</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5/30、オンライン開催、参加者：51 名</li> </ul> <p><u>第一部：報告</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ベトナムの最新経済概況と動向」 阿部智史 (株)双日総研 情報調査室 副主任研究員</li> <li>2. 「ベトナム市場の現地ビジネス最前線」 水嶋 恒三 双日ベトナム会社社長</li> </ol> <p><u>第二部：三者ディスカッション</u> テーマ：「2030 年のベトナム市場でのビジネス展開を探る」</p> <p>モデレーター (株)双日総研 坂井一臣代表取締役社長</p> <p>→現地専門家による経済・情勢動向、消費市場の変化、中長期的ビジネス動向に関するディスカッションを含む内容が高評価を得た。臨場感のある情報提供により、アンケートでは 96%以上が「参考になった」と回答。今後も国別に同様のセミナーを開催予定。</p> <p>②第2回 中国特集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12/16、オンライン併催、参加者：34 名</li> </ul> <p>演題：「中国の社会構造変化を見据えた事業再構築について ～北陸地域の中国現地法人の課題から～」</p> <p>発表者：一般社団法人 日中投資促進機構 岡 豊樹代表理事・事務局長</p>

事業計画	実施状況、評価・方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム：「北陸ベトナム相互企業進出促進協会」主催の総会参加、及びセミナー等開催支援</li> </ul>	<p>① 第8回定時総会の開催支援・参加予定</p>
<p>(b) 韓国</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第20回北陸(日本)・韓国経済交流会議の開催に向けての検討</li> </ul> <p>※北陸 AJEC は日韓経済協会協力会員 (主催：日韓経済協会・韓日経済協会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第55回 日韓経済人会議参加</li> <li>KOTRA 名古屋館主催投資環境セミナー開催支援</li> </ul> <p>※KOTRA は独法) 大韓貿易投資振興公社の略称。産業通商資源部傘下の貿易促進・投資誘致政府機関</p>	<p>① 8/26、江原特別自治道江陵市にて開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者 133 名 (日本側 39 名、韓国側 94 名)。8/25 と 27、水素複合ステーション他、4 施設を産業視察。 <b>写真⑥</b></li> <li>テーマ：「日韓地域間交流の促進」</li> <li>セッションⅠ：日韓会員自治体の地域活性化政策、セッションⅡ：日韓両国民間企業、及び関係機関の交流・連携事例、セッションⅢ：物流、及び観光、計 19 演題を発表後、質疑応答を実施。</li> </ul> <p>→6 年振りの記念すべき第 20 回会議となり、日韓の共通課題を踏まえ、交流の活性化や経済連携の重要性を再確認。日韓国交正常化 60 周年にあたる来年度は 8/26、27、金沢市にて開催予定。</p> <p>① 5/14-15、東京都内にて開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ：「未来へと続く日韓のパートナーシップ」参加者：217 名 (日本側 110 名、韓国側 107 名)</li> <li>Ⅰ) 経済連携の拡大、Ⅱ) 幅広く多様な交流の実現、Ⅲ) 両国政府への期待の 3 本柱の共同声明を採択。</li> </ul> <p>→日韓経済人が未来志向で相互の利益に結び付く事業分野に緊密に連携し、具体的成果を目指すことを共有。来年度第 57 回は韓国で開催予定。<b>写真⑦</b></p> <p>① 6/20、韓国最新経済セミナー ～最新の韓国経済とビジネス環境～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者：23 名、韓国最新経済動向 (金高麗大学教授)、韓国投資環境の紹介 (KOTRA 名古屋)、並びに中村留精密工業(株)の韓国進出事例 (山村生産本部長) を発表、質疑応答。</li> </ul> <p>→北陸企業の韓国での拠点数は 41 余拠点に留まるものの、市場開拓、事業提携等を検討する上で有益な最新情報の発信を継続したい。</p>
<p>(c) 海外経済視察ミッション派遣の検討</p>	<p>① 視察国：フィンランド共和国、日程：10/13～19 日、参加者：金井会長 (団長)、稲垣副会長以下 17 名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐日フィンランド大使館商務部の全面的協力と支援を得て、政府関係機関・大手民間企業・大学等 19 か所を視察。ウェルビーイング、カーボンニュートラル、スタートアップ創出・育成、DX、サステナビリティ、DE&amp;I 等の先進的な取組みと考え方等、最新の動向を体感。岡田駐フィンランド日本大使や同国日本商工会会員企業からは現地政治・経済情勢や事業環境に関し理解を深めた。<b>写真⑧</b></li> </ul> <p>→現地で構築した人的ネットワークを通じて情報収集に</p>

事業計画	実施状況、評価・方向性
	<p>努めながら、視察で得た新たな視点や取り組み事例、考え方、成果等の知見を、セミナー等を通じて当会員と共有し、会員企業の経営改革や生産性向上、D&amp;Iの推進等に繋げるとともに、当会の第六次中期アクションプラン（2026～2030年度）の策定に活かす。</p>
<p>(d) 海外関連セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関・団体と連携した海外情勢・動向、企業の海外展開に資するセミナー等の開催支援</li> </ul>	<p>① 広域連携の一環として、関係機関・団体と連携の上、海外情勢の最新事情と動向、注視すべきテーマ等に関するセミナーを開催支援の上、最新情報、及び今後の経済動向等の情報を発信予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ASEAN 諸国、インド、中国、韓国等の関連セミナーをメルマガ、北経連トピックスにて周知</li> </ul>

<参考>北陸経済連合会 単独事業

<p>○高度外国人材の受入環境、特定技能外国人制度等に関する要望活動・政府要望への織り込み</p>	<p>① 要望書に以下を記載（8/1 政府等への要望活動実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人留学生の就職促進および活用・定着に向けた施策の充実強化、地方の人手不足に対応した特定技能外国人の大都市圏等への集中防止及び外国人材の受入分野の拡大。</li> </ul>
<p>○関西経済連合会主催「アジア・ビジネスプラットフォーム(ABCプラットフォーム)」事業への参画</p> <p>※対象はASEAN 7か国。</p> <p>※「ABC CHALLENGE サポートプログラム」とは「ABCプラットフォーム」事業の一環として、日本企業との協業、及び日本市場に関心を持つASEAN企業のビジネス支援を目的として運営中のプログラム。ASEAN企業と日本企業との商談、展示会への出展、万博会場の見学等を含む。</p>	<p>① 「ABCプラットフォーム」HP上の「技術・商材」に「北陸のシェアトップ150」、及び会員企業を掲載。海外販路・顧客開拓を支援</p> <p>② 同プラットフォーム傘下スタートアップ部会主催の商談会を会員企業に紹介。海外販路・顧客開拓、及び新規事業創出を支援。</p> <p>③ 2024年3月4日、第3回全体会議をインドネシア商工会議所幹事にてインドネシアにて開催。</p> <p>④ 「ABC CHALLENGE サポートプログラム」の一環として、「ABCプラットフォーム」に属する7か国の各国経済団体からの推薦企業（各国1社）を受入れ予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイ企業で理学療法・リハビリテーション事業を展開中の Empire Recover 社にリハビリ事業を展開中の(株)ほっとリハビリシステムズを照会中。</li> <li>・ マレーシア企業で塗床用ポリウレタン事業を展開中の Flortech 社に樹脂製産業資材の製造・販売を展開中のフクビ化学工業(株)を照会中。</li> </ul>

<参考>実施状況に関する写真>



写真① 2023 年度調査事業報告セミナー



写真② 「北陸企業による外国人留学生採用実例報告会」



写真③ ベトナム行政官の産業視察（富山市役所）



写真④ ベトナム行政官の産業視察（中村留精密工業株）



写真⑤ 第一回海外現地情勢報告セミナー



写真⑥ 第20回 北陸（日本）・韓国経済交流会議



写真⑦ 第56回 日韓経済人会議@東京



写真⑧ フィンランド共和国経済視察